

2月7日（水）休憩

2年前、新聞に載っていた、5年生の作文を紹介します。

ぼくは、「**大人ってずるい**」とよく言っていました。なぜなら、親はよふかしをしているのに、ぼくがテレビを見ていると、「もう子供がテレビを見る時間ではありません。**早く寝なさい**」といわれてしまいます。

だからぼくは、父は夜遅くまでテレビを見ているなんて、ずるいと思っていました。だけど、年を重ねて高学年になると、やっと**父の気持ち**が分かったような気がしました。父は、いつも自分たちのために遅くまで働いて忙しいから、少しはゆっくりする自分の**休けい時間**がほしかったのだと思いました。

ぼくは、最初は父はずるいと思っていたけど、今は、この時間がぼくたちを養うために**必要な時間**なんだと分かるようになってきました。

親の気持ちが分かるということは、これ書いた5年生の子は、とても成長したんですね。

村越 新